

(7) 受講生によるアンケート評価

◎ 「酪農フィールド科学演習」 アンケート集計結果

受講者数：計 30 名

I 本取組に関する共通の質問

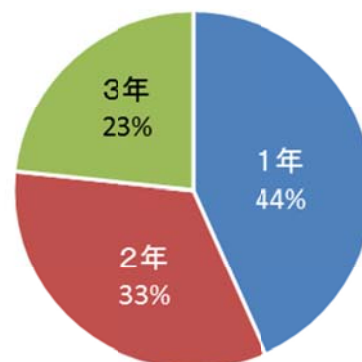
I-1 【属性について】

I-1-1) 所属大学・学部（コース等）

- 広島大学 生物生産部 生物生産学科：7 名
- 愛媛大学 農学部 生物資源学科：6 名
- 鳥取大学 農学部 生物資源環境学科：6 名
- 岡山大学 農学部 総合農業科学科：4 名
- 山口大学 農学部：4 名
 - （ 生物機能科：3 名
 - （ 生物資源環境科：1 名
- 香川大学 農学部 生物資源学科：3 名

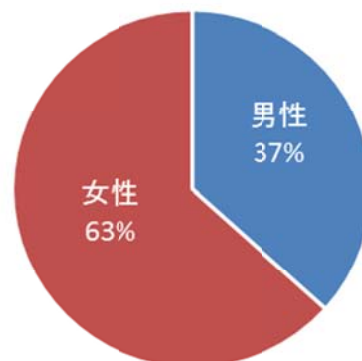
I-1-2) 学年

- 1 年次生：13 名
- 2 年次生：10 名
- 3 年次生：7 名
- 4 年次生：該当者なし



I-1-3) 性別

- 男性：11 名
- 女性：19 名

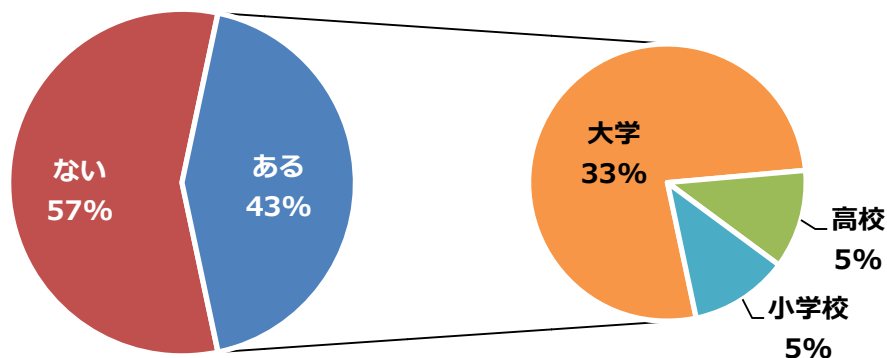


I-1-4) この演習以外に、これまでにフィールドを利用した授業を受けた経験があるか

ある：13名， ない：17名

↳ I-1-5) それほどの時期か(複数可)

- 大学：14名
- 高校：2名
- 中学校：該当者なし
- 小学校：2名



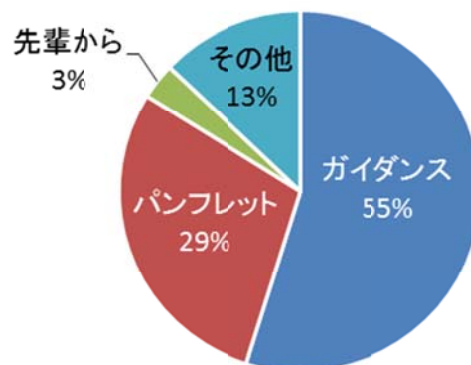
↳ I-1-6) 授業の内容

- 農場実習：5名
- 野菜の栽培：3名
- 牧場見学：2名
- 演習林実習：2名
- 田植え：2名
- 畜産実習：1名
- 林間学校：1名

I-2 【この授業に参加するにあたっての情報入手について】

授業のことを、何を通して知ったか(複数可)

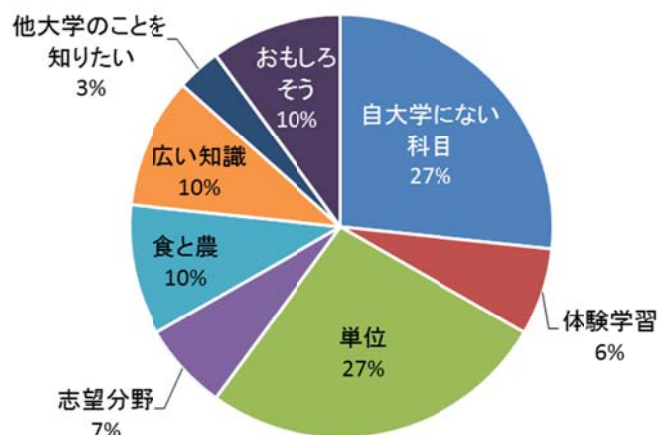
- ガイダンス：17名
- パンフレット：9名
- 先輩から：1名
- ネット：該当者なし
- その他：4名



I-3 【この授業に参加した理由について】

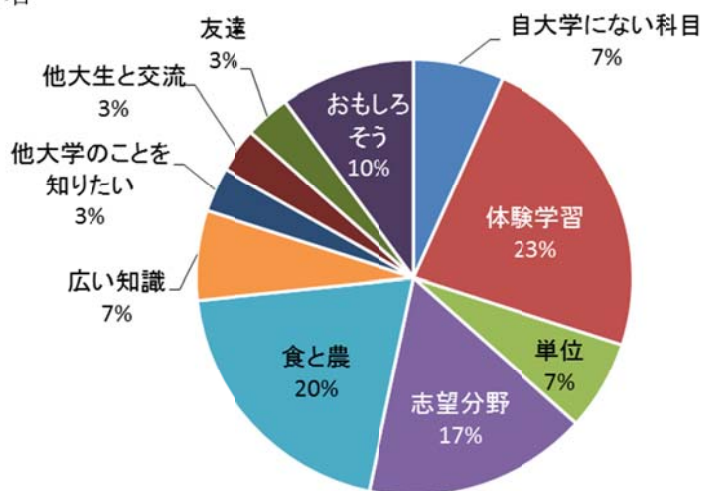
I-3-1) 最も強い動機はどれだったか

- 自分の大学には無い授業科目だから：8名
- 体験学習だから：2名
- 単位が取得できるから：8名
- 現在の志望分野に関係するから：2名
- 食と農について学べるから：3名
- 広い知識を得たいから：3名
- 他大学のことを知りたいから：1名
- 他大学の学生と交流できるから：該当者なし
- 友人が参加するから：該当者なし
- おもしろそうだから：3名
- その他（自由記述）：該当者なし



I-3-2) 二番目に強い動機はどれだったか

- 自分の大学には無い授業科目だから：2名
- 体験学習だから：7名
- 単位が取得できるから：2名
- 現在の志望分野に関係するから：5名
- 食と農について学べるから：6名
- 広い知識を得たいから：2名
- 他大学のことを知りたいから：1名
- 他大学の学生と交流できるから：1名
- 友人が参加するから：1名
- おもしろそうだから：3名
- その他（自由記述）：該当者なし

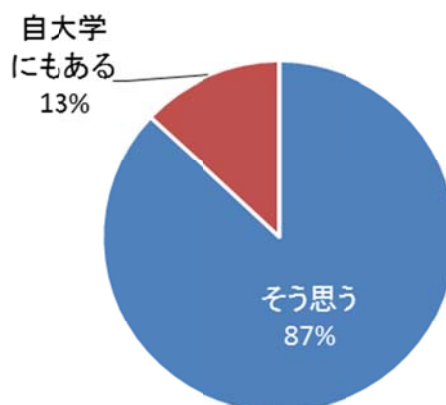


I-4 【広島大学で授業を受けた感想】

I-4-1) 今回受講したフィールド教育に類する授業は、自大学にはない科目・内容だった

※広島大学の学生は回答せず

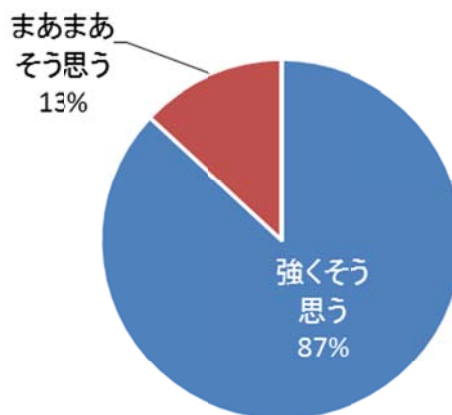
- そう思う：20名
- 自分の大学にも類する科目がある：3名
- わからない：該当者なし



I-4-2) 他大学の先生の授業を受講できて良かった

※広島大学の学生は回答せず

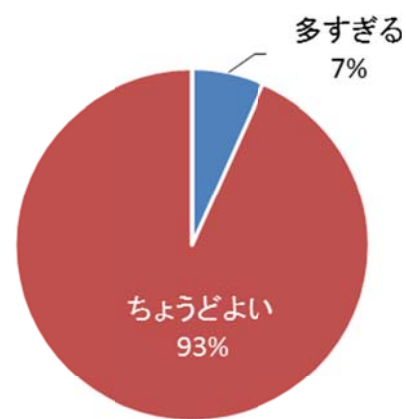
- 強くそう思う：20名
- まあまあそう思う：3名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



I-5 【他大学の学生との交流等について】

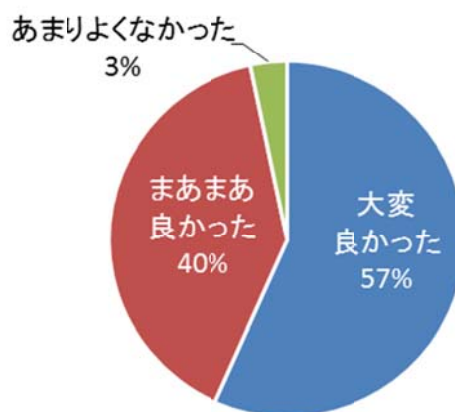
I-5-1) 今回の授業の受講者数 (30名) は、

- 多すぎる：2名
- 丁度良い：28名
- 少なすぎる：該当者なし



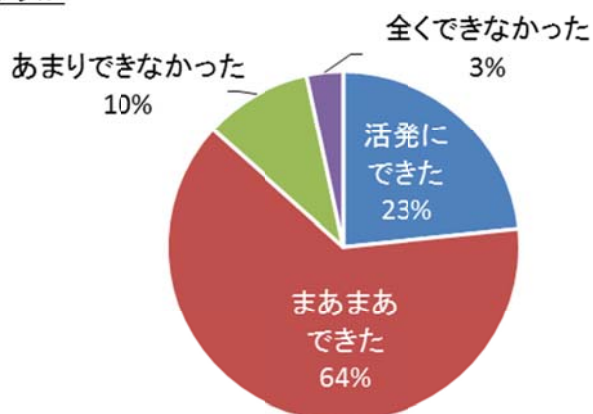
I-5-2) 他大学の学生と同じ授業を受けたことについて

- 大変良かった：17名
- まあまあ良かった：12名
- あまり良くなかった：1名
- 悪かった：該当者なし



I-5-3) 他大学の学生と交流がどの程度できたと思うか

- 活発にできた：7名
- まあまあできた：19名
- あまりできなかった：3名
- 全くできなかった：1名

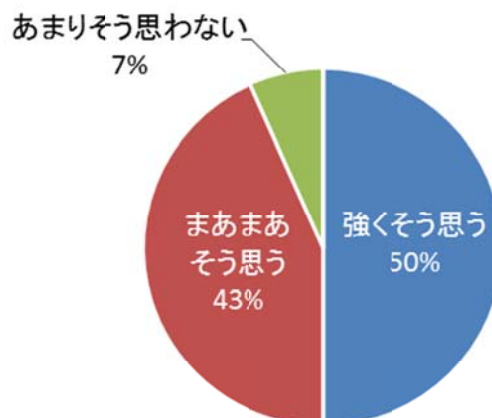


I-6 【演習の実施方法について】

(この授業は、4日間の集中形式で、講義、実習、発表の3部から構成されている)

I-6-1) こうした組合せは、授業を理解する上で有効である

- 強くそう思う：15名
- まあまあそう思う：13名
- あまりそう思わない：2名
- 全く思わない：該当者なし



I-6-2) 講義、実習、発表のうち、最も面白かったもの

- 講義：該当者なし
- 実習：30名
- 発表：該当者なし



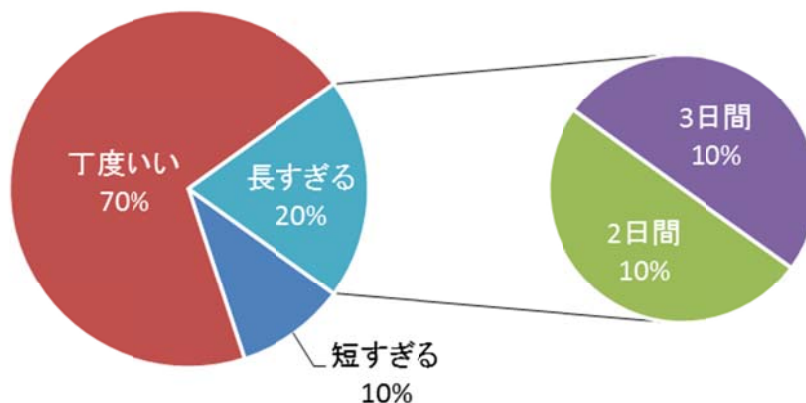
I-6-3) 3泊4日の日数について

- 長すぎる：6名



I-6-4) 何日間なら良いか

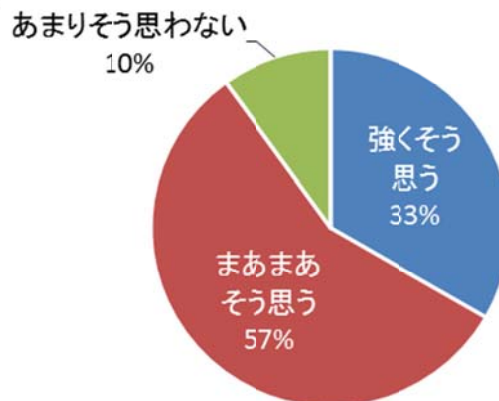
- 1単位になっても2日間が良い：3名
- 1単位になっても3日間が良い：3名
- 丁度良い：21名
- 短すぎる：3名



I-7【参加費に関して】

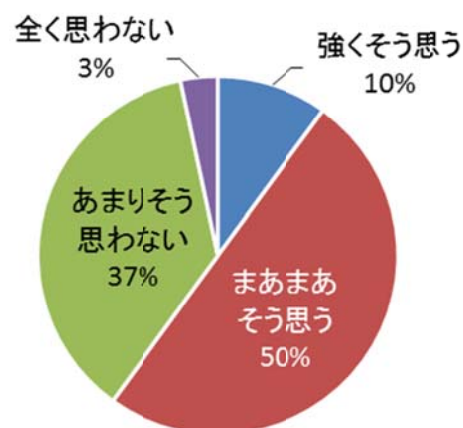
I-7-1) 自分の得たものを考えると参加費は妥当か

- 強くそう思う：10名
- まあまあそう思う：17名
- あまりそう思わない：3名
- 全く思わない：該当者なし



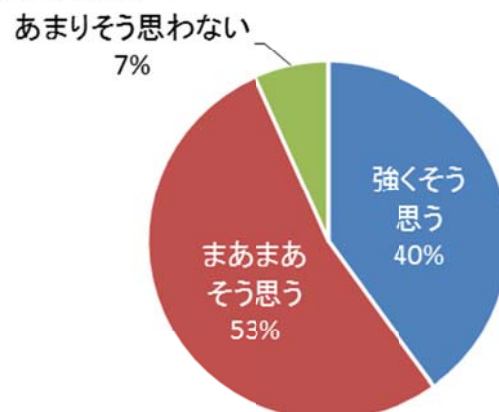
I-7-2) 参加費（実費）から考えて、食事は満足できたか

- 強くそう思う：3名
- まあまあそう思う：15名
- あまりそう思わない：11名
- 全く思わない：1名



I-7-3) 参加費（実費）から考えて、宿泊施設には満足できたか

- 強くそう思う：12名
- まあまあそう思う：16名
- あまりそう思わない：2名
- 全く思わない：該当者なし



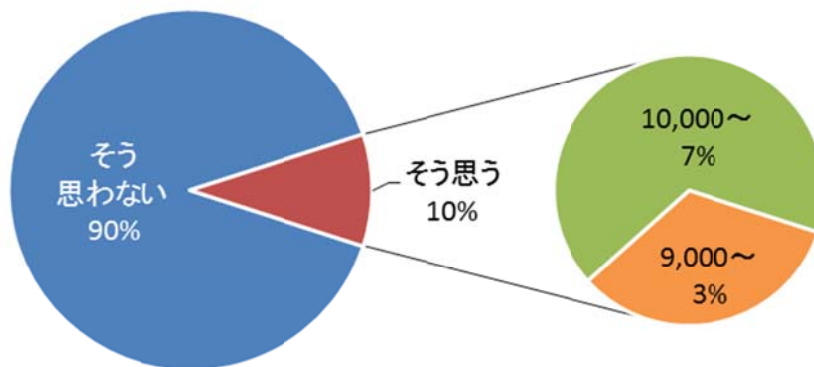
I-7-4) 参加費（実費）をもっと高くしても食事と宿泊施設を良くしてほしいか

- そう思う：3名



I-7-5) 参加費（実費）がどの程度までなら参加するか

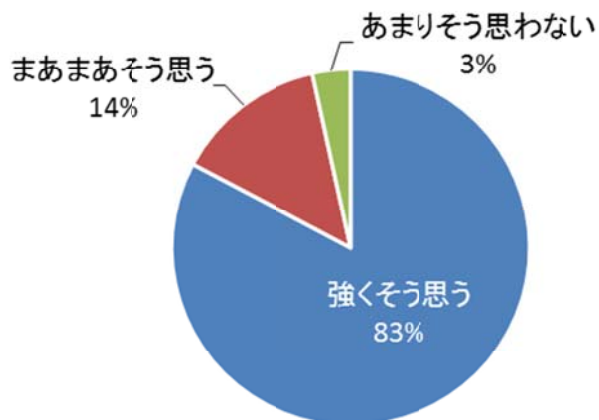
- 9,000円～：1名
 - 10,000円～：2名
 - 15,000円～：該当者なし
 - 20,000円～：該当者なし
- そう思わない：27名



I-8 【食農フィールド科学演習全体について】

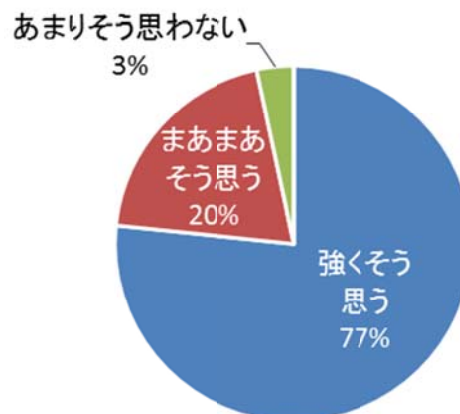
I-8-1) このフィールド科学演習の形式は通常の講義だけの授業よりも、物事を考える上で、有意義である

- 強くそう思う：25名
- まあまあそう思う：4名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし



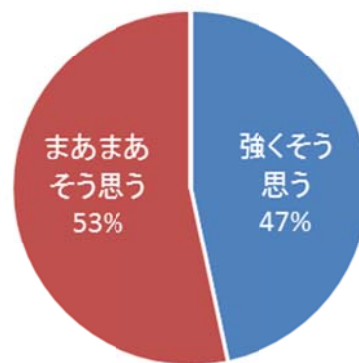
I-8-2) この演習によって、フィールド科学の幅広さや面白さを知った

- 強くそう思う：23名
- まあまあそう思う：6名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし



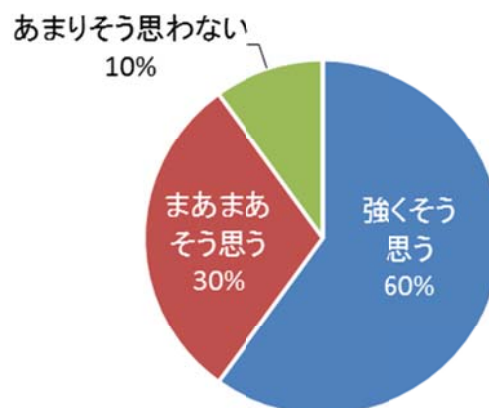
I-8-3) この演習を受講して食べ物と農業の関係についてもっと知りたくなった

- 強くそう思う：14名
- まあまあそう思う：16名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



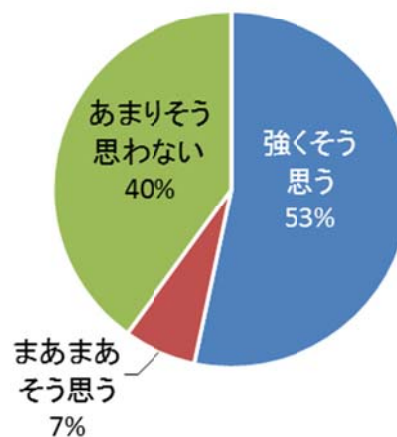
I-8-4) この演習によって、食べ物と命の関連性について考えるようになった

- 強くそう思う：18名
- まあまあそう思う：9名
- あまりそう思わない：3名
- 全く思わない：該当者なし



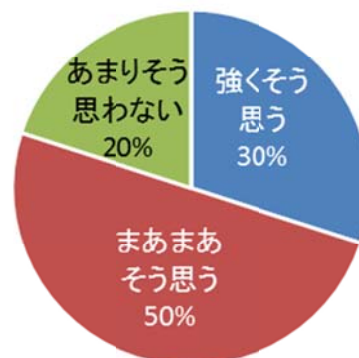
I-8-5) この演習によって、わが国の食料自給率について考えるようになった

- 強くそう思う：16名
- まあまあそう思う：2名
- あまりそう思わない：12名
- 全く思わない：該当者なし



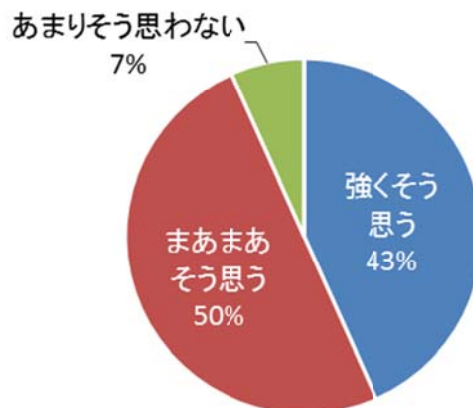
I-8-6) この演習によって、行動力や積極性を高めることができた

- 強くそう思う：9名
- まあまあそう思う：15名
- あまりそう思わない：6名
- 全く思わない：該当者なし



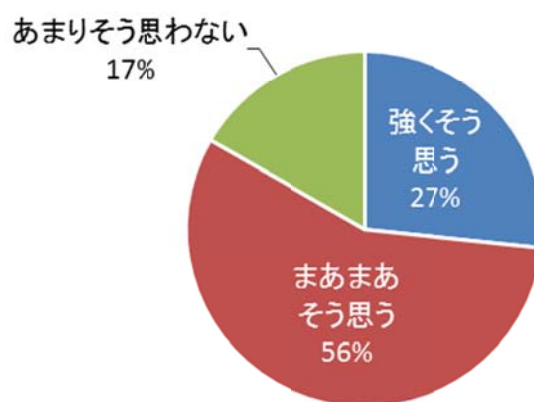
I-8-7) この演習によって、これからの学習意欲が高まった

- 強くそう思う：13名
- まあまあそう思う：15名
- あまりそう思わない：2名
- 全く思わない：該当者なし



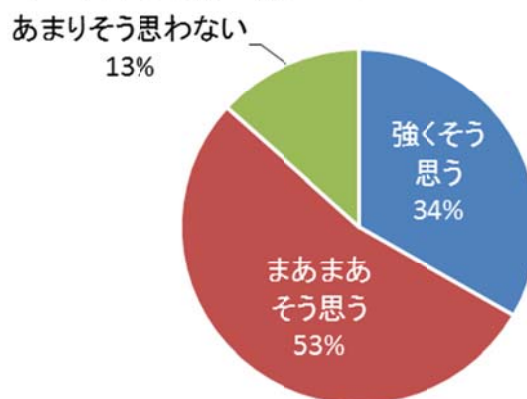
I-8-8) 他大学の学生と交流することによって、コミュニケーションスキルが高まった

- 強くそう思う：8名
- まあまあそう思う：17名
- あまりそう思わない：5名
- 全く思わない：該当者なし



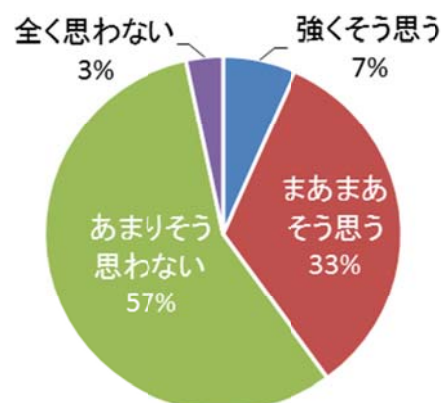
I-8-9) グループ単位の実習によって、チームワークに対する意識が高まった

- 強くそう思う：10名
- まあまあそう思う：16名
- あまりそう思わない：4名
- 全く思わない：該当者なし



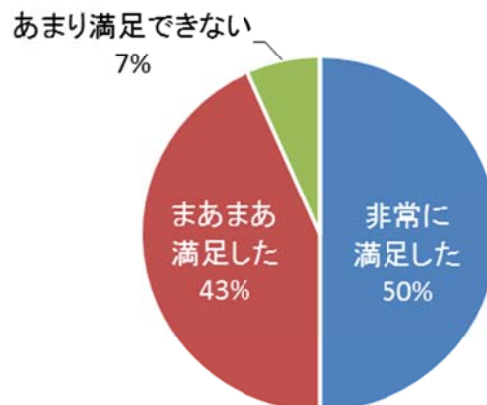
I-8-10) グループ単位の実習によって、リーダーシップをとる力が高まった

- 強くそう思う：2名
- まあまあそう思う：10名
- あまりそう思わない：17名
- 全く思わない：1名



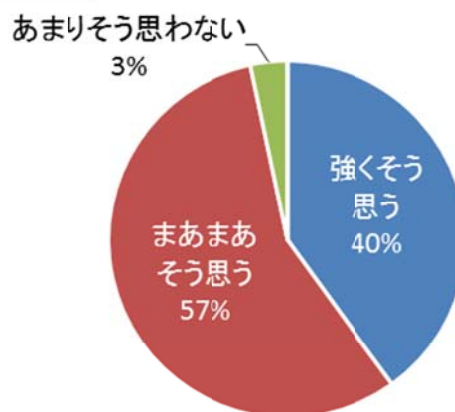
I-8-11) 参加する前の期待度によって満足度はどうか

- 非常に満足した：15名
- まあまあ満足した：13名
- あまり満足できない：2名
- 全く満足できない：該当者なし



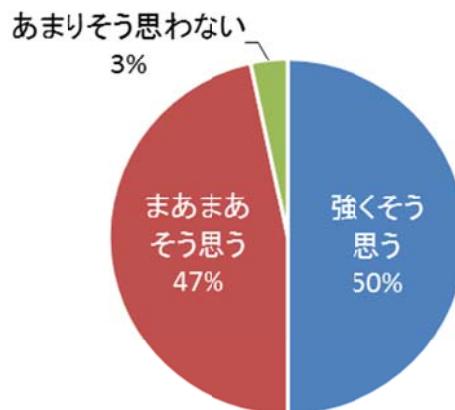
I-8-12) 今回の演習を受講して後輩にも勧めたいと思ったか

- 強くそう思う：12名
- まあまあそう思う：17名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし



I-8-13) フィールド科学演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やして欲しいか

- 強くそう思う：15名
- まあまあそう思う：14名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし

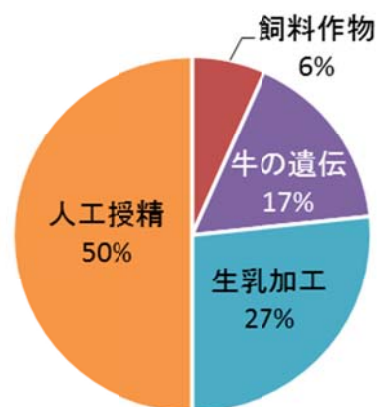


II 授業に関する質問（この演習は、講義、実習、発表等から構成されている）

II-1 【今回の講義に関する質問】

II-1-1) 最も面白いと感じた講義とその理由

- 演習ガイダンス：該当者なし
- 牧草，飼料作物生産と放牧の実際：2名
- 胃のしくみを探る：該当者なし
- 乳牛と肉牛の遺伝的特性：5名
- 搾乳した生乳を加工する：8名
- 乳牛の人工授精の実際：15名



<理由>

牧草，飼料作物生産と放牧の実際

- ・最も熱心に説明してくれたため。
- ・牛の飼料について以前から気になっていたことがあったため。

乳牛と肉牛の遺伝的特性

- ・写真が多くイメージしやすかった。
- ・内容が好き。
- ・わかりやすく、面白かった。また遺伝に興味があったから。
- ・乳牛・肉牛だけでなく、地方によっても形態が違うことを知れたから。
- ・先生の話がおもしろかった。話が身近だった。

搾乳した生乳を加工する

- ・バターのできる仕組みがわかりやすく教われたから。
- ・バター作りの経験ができた。
- ・初めての体験だったので。
- ・バター作りが楽しかった。
- ・バター作りに興味があったため。
- ・実際にバター作りに成功したから。
- ・牛乳からバターを作るなどの加工に興味があったから。
- ・バター作りが楽しみだったので！

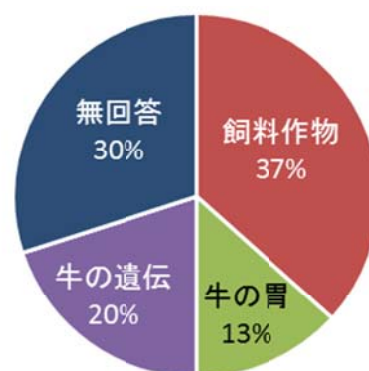
乳牛の人工授精の実際

- ・牛の体温を肌で感じる事ができたから。
- ・初めて解剖ができた。より詳しい仕組みがわかった。
- ・実際に直腸検査をしたから。
- ・実際にどのようにしているのかを初めて知ったから。
- ・実際に解剖できたのが印象に残ったから。
- ・もともと1番聞きたい講義だったから。

- ・興味があるため。
- ・人工授精を実際に見学できたから。
- ・実際に人工授精の様子を見られたから。
- ・実際に受精を行う様子を見ることができ、自分で直腸検査もしたから。
- ・実際の子宮を見て触ることができたから。
- ・牛の解剖の時に子供がいて、あまり見ることができないものをみることもできた。
- ・牛に手を入れるのが刺激的だったから。
- ・本物の胎児をみたことや直腸検査の印象が強いから。
- ・乳牛の子宮を触ったりスケッチできておもしろかったから。

Ⅱ－１－２）最も理解しにくかった講義とその理由

- 演習ガイダンス：該当者なし
- 牧草，飼料作物生産と放牧の実際：11名
- 胃のしくみを探る：4名
- 乳牛と肉牛の遺伝的特性：6名
- 搾乳した生乳を加工する：該当者なし
- 乳牛の人工授精の実際：該当者なし
- 無回答：9名



<理由>

牧草，飼料作物生産と放牧の実際

- ・計算が少しわかりにくかった。
- ・授業時間が短く収量の計算を簡単にすませてしまったので理解が追い付かなかったから。
- ・計算の仕方がよくわからなかった。
- ・話が矛盾していた。でもイメージはつかめたので理解は十分。
- ・収量の計算が難しかった。
- ・計算がわからなかった。
- ・単収などの計算が少し複雑に思ったから。
- ・話が難しかった。
- ・話し方が聞き取りにくかったから。
- ・計算結果に実感がわからなかった。
- ・飼料の量を計算するのが難しかったから。

胃のしくみを探る

- ・胃のそれぞれの役割や、胃酸中にある菌の役割がわからなかったから。
- ・牛の胃は複雑だった。
- ・難しい内容に感じたから。

- ・難しかったから。

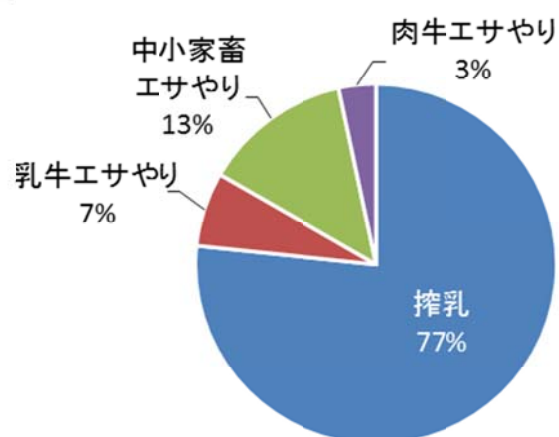
乳牛と肉牛の遺伝的特性

- ・当たりさわりのない説明が中心だったため。
- ・もう少し交配などの話もしていただきたかった。
- ・少し専門分野の内容が難しかった。
- ・牛舎でできる授業があったらいいと思った。
- ・自分がちゃんと話を聞いていなかっただけ。

Ⅱ-2【今回の実習に関する質問】

Ⅱ-2-1) 最も面白いと感じた管理作業とその理由

- 乳搾り体験：23名
- 乳牛へのエサやり：2名
- 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除：4名
- 肉牛へのエサやり：1名



<理由>

乳搾り体験

- ・新鮮で、なかなかできないことだから。
- ・最先端技術を知れたから。
- ・はじめての体験であったし、乳搾りは楽しかったから。
- ・楽しかった。
- ・病気やけがの牛の乳をどのように搾るか知れたから。
- ・機械の取り入れ方などがわかった。
- ・なかなか搾乳の機会がないから。
- ・牛を搾乳するところまで移動させるのが大変だったが、いうことを聞かなくて人を見分けることができ賢いなと思ったから。
- ・前からやってみたいと思っていたから。
- ・手で搾るのと機械で搾るのをどちらも体験できたから。
- ・初めての体験だったから。
- ・乳搾りはしたことがなく、新鮮だったから。
- ・初めての体験だった。
- ・搾乳を実際に見られて感動したから。
- ・手で搾った感覚がよかったから。
- ・初めての体験だった。
- ・実際の乳搾りは初めてだったから。
- ・この作業がしくてこの実習を選んだから。
- ・機械がすごいから。

- ・乳が好きなため。
- ・牛の乳をはじめて触ったから。
- ・搾るのがおもしろかった。牛乳が好きなので。
- ・経験がなく、機械をつかった搾乳だったから。

乳牛へのエサやり

- ・栄養が考えられていることがわかったから。
- ・給餌機の動きを間近でみることでできたため。

中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除

- ・家畜の世話をできてとても楽しかったから。
- ・動物とふれあいやすかったから。
- ・掃除で多少は動物に恩返しできたから。
- ・放牧場へ家畜を連れて行くのが楽しかった。

肉牛へのエサやり

- ・子牛がとっても可愛かった。

Ⅱ-2-2) 最も理解しにくかった管理作業とその理由

- 乳搾り体験：4名
- 乳牛へのエサやり：9名
- 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除：4名
- 肉牛へのエサやり：2名
- 無回答：11名

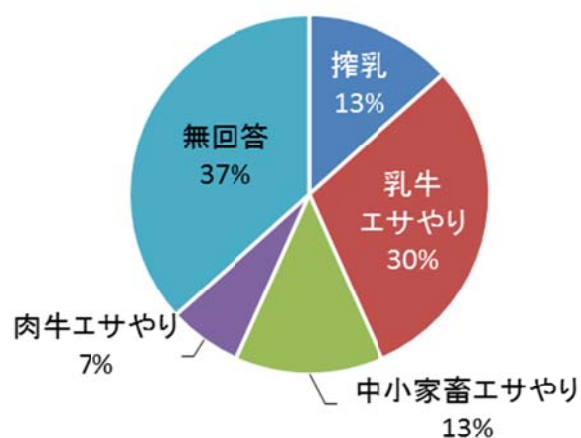
<理由>

乳搾り体験

- ・事前にもう少し説明がほしかった（器具等の）。
- ・搾り方の説明が少なかったから。
- ・思っていたよりも消毒などがあって少し複雑だったから。
- ・消毒や機械の使い方など複雑なところが多々あった。

乳牛へのエサやり

- ・どの飼料にどのような効果があるのかあまりわからなかった。
- ・TMRに加えるものがたくさんあった。
- ・エサの内容。
- ・エサの比が難しかった。
- ・半分に分かれて別の作業をした時、やってないほうの作業がわからなかった。



- ・あまり自分たちでできなかった。
- ・給餌ロボットの全容がわからなかったため。
- ・エサの種類が色々だから。

中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除

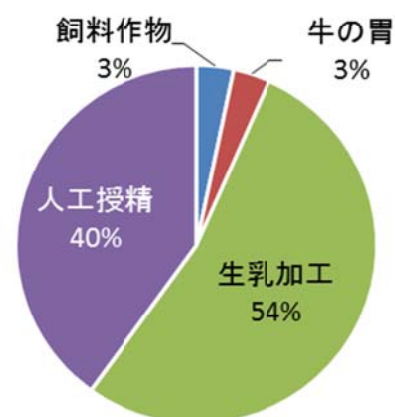
- ・乳牛・肉牛のエサやりの時と比べて説明が少なく指示される行動が多かったから。

肉牛へのエサやり

- ・エサの配合が複雑。
- ・肉牛はあまり興味がないから。

Ⅱ-2-3) 最も面白いと感じた実習（講義と実習がセットになっている授業）とその理由

- 牧草，飼料作物生産と放牧の実際：1名
- 胃のしくみを探る：1名
- 搾乳した生乳を加工する：16名
- 乳牛の人工授精の実際：12名



<理由>

牧草，飼料作物生産と放牧の実際

- ・最も熱心に説明してくれたため。

胃のしくみを探る

- ・ルーメンジュースをカテーテルに入れてとるのを初めて見た。

搾乳した生乳を加工する

- ・実際にバターを作ることができる仕組みが理解できたから。
- ・バターを自分で初めて実際に作ったから。
- ・初めてバターが作れたから。また新鮮でおいしかった。
- ・バター作り。
- ・バターがおいしかったので。
- ・バターを作れたから。
- ・加工に興味があるから。
- ・実際にバターを作って食べてみてバターの値段が高い理由がわかったから。
- ・みんなで一緒にバターを作るのが楽しかったから。
- ・バターが成功したから。
- ・バターが本当に作れたから。
- ・実際にバターを食べて体験できたから。
- ・バターを自分で作れたから。

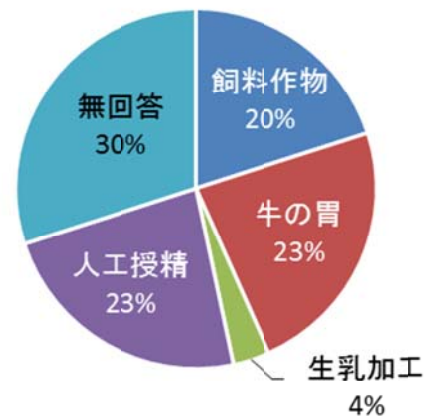
- ・バター作りに興味があるため。
- ・バター作りがおもしろかった。
- ・バターができてよかった。

乳牛の人工授精の実際

- ・初めて実際に人工授精を行っているところを見られたから。
- ・直腸検査を実際にしたり人工授精をみることができた。
- ・牛の内部を知れたのは貴重な体験だと思うから。
- ・子宮を見て触って解体できたから。
- ・酪農の現場について学べたと思うから。
- ・これまでは映像しか見たことがなくイメージできないことだった。
- ・牛や豚の生殖器の解剖ができたから。
- ・本だけではないリアルなものが知れてよかった。
- ・牛の人工授精をしているところを初めて見たし、子宮も見られたから。
- ・実際に直腸検査ができたから。
- ・直腸検査と子宮の解剖をできたのがよかった。
- ・興味があったので。

Ⅱ－２－４）最も理解しにくかった実習（講義と実習がセットになっている授業）とその理由

- 牧草，飼料作物生産と放牧の実際：6名
- 胃のしくみを探る：7名
- 搾乳した生乳を加工する：1名
- 乳牛の人工授精の実際：7名
- 無回答：9名



<理由>

牧草，飼料作物生産と放牧の実際

- ・面積の計算がわかりにくかった。
- ・飼料作物の量など考えるのが複雑だった。
- ・トウモロコシ以外の飼料の場合も知りたかった。
- ・計算がうまくできなかつたから。
- ・計算の仕方がよくわからなかつた。
- ・層別刈取法などが難しかった。

胃のしくみを探る

- ・胃酸中の菌が行う役割等がわからなかつたから。
- ・牛のどの部分にどのような役割があるか理解できなかつた。

- ・胃の仕組みがあまりよく理解できなかった。
- ・見ていてつらかった。
- ・解剖でどの部分がどの器官なのかわかりにくかった。
- ・胃の仕組みがよくわからなかった。
- ・牛の胃を実際に見てみたかった。

搾乳した生乳を加工する

- ・振るのをやめるタイミングがいまいちわからなかった。

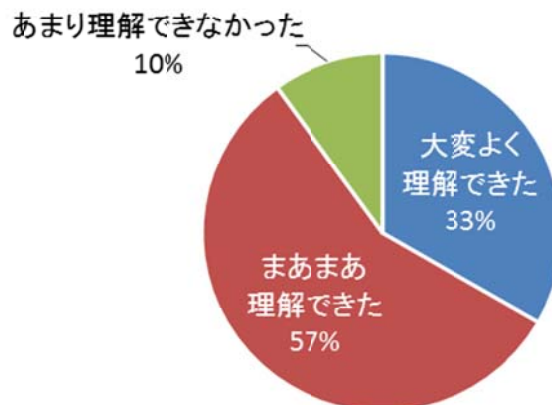
乳牛の人工授精の実際

- ・時間が不足していて質問ができなかった。
- ・解剖図を描くのが難しかったから。
- ・スケッチが大変だった。
- ・はさみで切るのがこわかった。
- ・作業風景を見てもよくわからなかったから。
- ・スケッチが難しかった。
- ・各部を理解するのが難しかった。

Ⅱ－3 【今回の発表会および発表準備に関する質問】

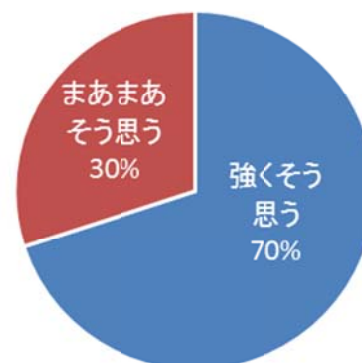
Ⅱ－3－1) 発表準備会2日目の教員と技術職員による授業と討論は理解できたか

- 大変よく理解できた：10名
- まあまあ理解できた：17名
- あまり理解できなかった：3名
- 全く理解できなかった：該当者なし



Ⅱ－3－2) 演習3日目の農場における自由質問時間は発表の準備に役立ったか

- 強くそう思う：21名
- まあまあそう思う：9名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし

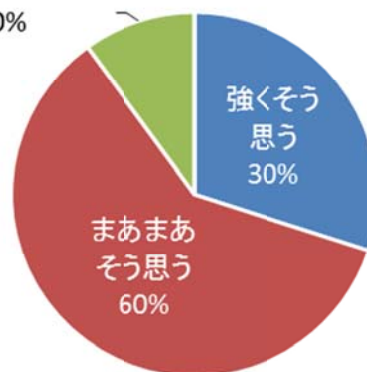


Ⅱ-3-3) 発表のチームワークは上手くできたか

- 強くそう思う：9名
- まあまあそう思う：18名
- あまりそう思わない：3名
- 全く思わない：該当者なし

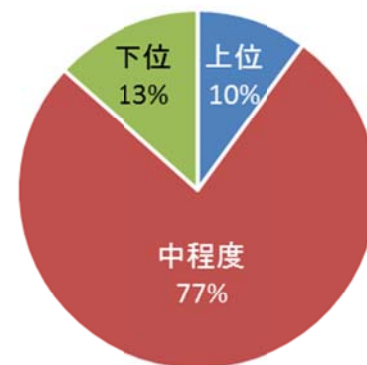
あまりそう思わない

10%



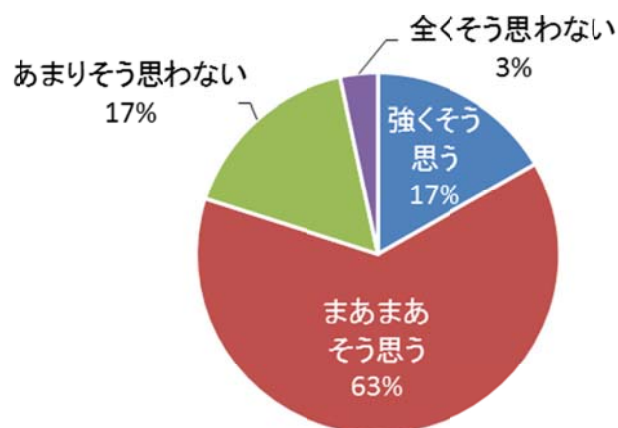
Ⅱ-3-4) 他班の発表と比較して自分たちの発表は

- 上位に位置していた：3名
- 中程度に位置していた 23名
- 下位に位置していた：4名



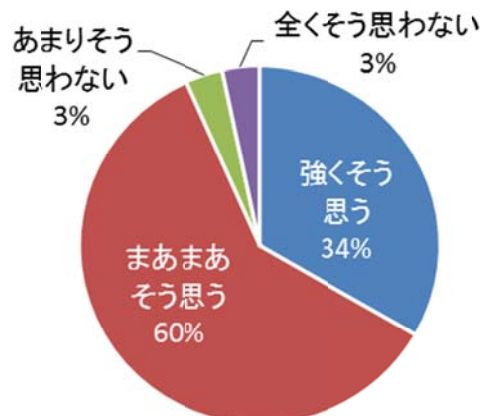
Ⅱ-3-5) 発表のための基礎的な手法が身に着いたか

- 強くそう思う：5名
- まあまあそう思う：19名
- あまりそう思わない：5名
- 全く思わない：1名



Ⅱ-3-6) 発表会をすることで、講義や実習の内容がより理解できた

- 強くそう思う：10名
- まあまあそう思う：18名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：1名

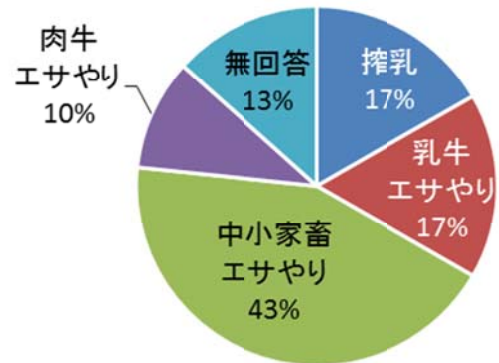


Ⅲ TAに関する質問

Ⅲ-1【TAの補助に関する質問】

Ⅲ-1-1) TAの補助が最も役に立ったのは、どの管理作業か(その具体例)

- 乳搾り体験：5名
- 乳牛へのエサやり：5名
- 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除：13名
- 肉牛へのエサやり：3名
- 無回答：4名



<具体例>

乳搾り体験

- ・わからなかったところをすぐ聞けたから。
- ・指示が正確だった。
- ・搾り方を丁寧に教えてもらった。
- ・コツを教えてもらった。
- ・乳搾り初めてだったけどどうしたらよいかなど教えてくれてすぐにできたから。

乳牛へのエサやり

- ・エサにもいろんな種類があり、それを説明してくれたから。
- ・最初の作業でとまどっていたから。
- ・詳しいことを教えてくださった。
- ・安全についての注意が丁寧だった。
- ・疑問を聞くことができたから。

中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除

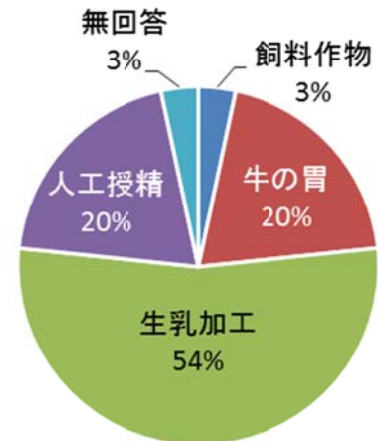
- ・掃除道具の片づけ方などを教えてもらった。
- ・糞を入れる場所を教えてもらった。
- ・この辺を掃除してね、といろいろ教えていただけたから。
- ・どこにエサをどれくらいあげるなどを指示してくれたから。
- ・どこに道具があるかなど教えてくれた。
- ・与え方のコツを教えてくれたから（みんなが食べられるよう広げるとか）。
- ・どうすればいいのかわからなかったので助かった。
- ・作業している職員よりも質問しやすかった。
- ・やらないといけないことが沢山あった。
- ・牛を思うように扱えなかったときに手伝ってもらったから。
- ・エサの与え方を教えてくださったから。
- ・掃除用具の準備でお世話になった。
- ・誘導してくれた。

肉牛へのエサやり

- ・気になったことがすぐ聞けた。
- ・補足説明をしてくださった。
- ・職員さんの指示が届かない時があったから。

Ⅲ-1-2) TAの補助が最も役に立ったのは、どの実習か（その具体例）

- 牧草，飼料作物生産と放牧の実際：1名
- 胃のしくみを探る：6名
- 搾乳した生乳を加工する：16名
- 乳牛の人工授精の実際：6名
- 無回答：1名



<具体例>

牧草，飼料作物生産と放牧の実際

- ・収量の測定を補助してもらったため。

胃のしくみを探る

- ・胃の仕組みを聞くことができたから。
- ・4つの班に分かれていて、先生に聞けない時にいろいろ教えてもらえるから。
- ・準備などをたくさんしていただいたと思う。
- ・解剖した部分での説明がとてもわかりやすかったから。
- ・どこがどの部分なのか説明してくれた。
- ・コツを教えていただいたから。

搾乳した生乳を加工する

- ・指示が正確だった。
- ・コツを教えてもらった。
- ・バターラスト30秒の大切さを知った。
- ・言われたとおりにしたらバターができたから。
- ・このくらいでいいよ、とすぐ言ってもらえたから。
- ・バターをつくるのにアドバイスしてくれたから。
- ・今どのような状態で何をすべきか教えてくれた。
- ・あとどれくらいか教えてくれたから。
- ・バターの出来上がり具合の確認が素晴らしかった。
- ・つくり方がわかりやすかった。
- ・どれくらい振ればいいのかわからなかった。
- ・出来具合を見てくださったり、コツを教えてくださったから。
- ・事前にペットボトルや生乳の準備をしてくださった。

- ・バター作りについて詳しく指導して下さった。
- ・事前にペットボトルや生乳の準備をして下さった。

乳牛の人工授精の実際

- ・子宮の仕組みやそれぞれの気管の役割を教えてもらった。
- ・解剖の仕方など教えて下さった。
- ・子宮の名称などを教えてもらった。
- ・生殖器観察の手伝いをしてもらえた。
- ・直腸検査。
- ・説明をして下さった。

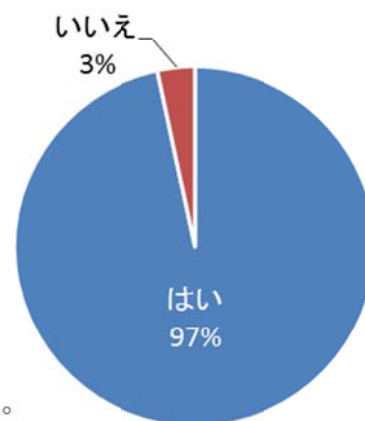
Ⅲ-1-3) 発表準備においてTAの補助は役に立ったか(その理由)

- はい：29名
- いいえ：1名

<理由>

はい

- ・ヒントが見つかったから。
- ・考え方の視点の持ち方を学べた。
- ・質問や疑問に思ったことをすぐに聞けたから。
- ・上手くまとまっていな時にアドバイスしてもらったから。
- ・いろいろアドバイスをもらえた。
- ・その人の研究内容など学生に近い人の話を聞けた。
- ・発表の仕方や個性の表現の仕方を学べた気がするから。
- ・どうした方がわかりやすいかなどの助言がもらえたから。
- ・まとめ方のアドバイスをくれた。
- ・スライドを作る際にアドバイスをもらいスムーズに話し合いながら進むようになった。
- ・アプローチの仕方がわかりやすかった。
- ・質問できた。
- ・準備の状況を確認してもらえた。
- ・よくわからないことを聞けた。
- ・先生方より気安く質問できた。
- ・質問しやすい。
- ・TAさんも質問に答えてくれたので助かった。
- ・質問が多くできたので役立った。
- ・先生が他の人の質問で忙しい時に回答してくれた。
- ・いつでも近くにいてくれてすぐに質問に答えてくれたから。
- ・一つ一つ丁寧に答えてくれた。



- ・ TA がいないとスムーズに回らないと思う。
- ・ 体験談や酪農に関係なく大学生全般についてもいろいろ聞けたから。
- ・ 発表準備中にできた疑問にたくさん答えていただいたから。
- ・ 質問することができたから。
- ・ 色々教えてくださった。
- ・ どのような流れで作ればよいか教えてくれた。

いいえ

- ・ 自分たちでそれまでの内容をまとめればよいため。

その他 演習に関する感想

良かった点

- ・ TA がつくのは質問が気軽にできるのでとてもよかった。
- ・ 技術職員の方の生の声が聞けて良かったです。
- ・ お茶が常にあるのは熱中症対策として良い。
- ・ 3泊4日どうもありがとうございました。とてもいい体験ができました。
- ・ 他大学との交流や自分の中で知識も知恵も深まってとてもよかったと感じた。
- ・ 実習を通して規則正しい生活ができ、時間を有意義にできたと思いました。
- ・ 4日間ありがとうございました。
- ・ ホット賀茂がよかった。

改善点

- ・ 冷房が全体的に効きすぎていてとても寒かった（食堂、講義室など）。
- ・ クーラーが寒すぎた（食堂）。
- ・ 宿泊ではなく帰宅したかった。
- ・ 食事のおかずのバリエーションをもう少し増やしてほしい。
- ・ 男子と女子でご飯を分けてほしい。また、あたたかい物が食べたいです。
- ・ パワーポイントの作成を2日目の晩から取り組むともっとスムーズだったと思う。
- ・ 大学の食堂で食べるなどがあったらよかった。広島大学のことも知れるから。
- ・ 一人で考える時間を設けてほしい。
- ・ それぞれの大学ごとにかたまって交流が少ない。

総合考察

酪農フィールド科学演習については、1年生、2年生、3年生の受講生の割合がほぼ均等であったが、男女比は例年通り女子の割合が多い傾向にあった。これまでにフィールドを利用した授業を受けたことがない学生が約半数いたことから、今後とも本演習を継続することで学生のニーズに答えることができると思われる。演習内容、演習環境、演習期間等に対する受講生の満足度は例年と同様にいずれも高く、本演習プログラムの4年間の成果が表れたものと考えられる。しかし、演習（座学を含む）に対する理解度においては、各項目（例えば、飼養管理、遺伝、繁殖等）間で大きな差が認められたことから、平成27年度以降の演習では、おおよその内容は踏襲するものの、授業形態の詳細については授業担当者間で再考することで、授業項目にかかわらず学生の理解度を高めることが必要であると考えられた。特に本農場では平成27年度から共同利用拠点の再認定を受けたので、さらに教育の質的向上に努めることが重要である。